

三和分校

PTAだより

福知山高校
三和分校PTA

H21 12月18日

行事を振り返って

PTA副会長 藤田 久美子
朝夕の寒さが身にしみる季節になってきました。

PTA会員の皆様には御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、PTA活動に御協力をして下さり心より御礼を申し上げます。

今年度は、新型インフルエンザのため、心配いただいていた修学旅行も何とか無事に行われ、たくさん思い出とともに帰ってこられたと思います。環境整備作業では、お忙しい中たくさんの方に御協力いただき感謝しております。

私自身、子どもが三和分校に入るまで名前は聞いたことがあるけれど、どこにあるかもわからず子どもも農業のことなど全く知らないのに本当にやっつけているのだろうかとも心配でした。



しかし、あつという間に三年生。PTA活動をとおして見るもの聞

くものすべてが初めてのことが多く、戸惑いながらも、新たに高校生活を送っているような気持ちです。

今年の体育祭は、あいにくの雨でグラウンドが使えず体育館での開催でした。高校生ともなると体育祭といってももっとだらけていくのかと思いきや、みんな競技は真剣で、見ているときもとても楽しそうに、仲間に声かけをしたりしているのにはびっくりしました。全員リレーなど、パワーがありすぎて体育館が狭すぎて壁にぶつかるとんじやないかと思うほどの迫力でした。みんなすごくいい顔をしてやっていたので、もっとたくさんの人が見に来てくれたらいいのになあと思いました。

文化祭では、ひとりひとりが、それぞれの持ち場で生き生きと活動していました。今年も、マドレーヌも二種類でネーミングセンスも楽しく、私も友人にあげたところ、とてもおいしかったです。お野菜もとてもおいしく毎年楽しみにしています。ピオーラをたくさん買っておられる人が、ここのはとて

もいい苗なので、人に頼まれた。』
と言っておられました。

PTAバザーは、御協力ありがとうございました。天候の都合で室内での販売で、人がまわってこられないのではと心配しましたが、お陰様でたくさんの方々に来ていただき午前中にはほぼ完売することができました。

これからも、まだまだ難問にぶつかることでしょうが、同じ時間を共有することで共に成長していきたいと思えます。

思いを受け継ぐ

―地域と共に、日々を大切に―

副校長 蘆田 美代子

師走の候、PTA会員の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から、三和分校教育の充実発展のため、御理解と御協力御支援をいただきありがとうございます。

二学期も授業に行事に部活動にと生徒達は真剣に取り組みしました。八月には陸上競技部、ソフトテニス部の四年生、四名が東京で行われた全国定時制通信制高等学校体育大会にそれぞれ四年連続、三年連続の出場を果たしました。また、一年の池田優大君は、一月に山口県で行われる第十八回全国高等学校文化連盟将棋新人大会への出場権を獲得しました。

さて、十一月に行いました文化祭には多くの方々に御来校いただきありがとうございます。降雨が心配される中、一部雨天対応での文化祭（バザー・即売会）となりましたが、生徒達の元氣と笑顔のあふれるよい文化祭となりました。その折に、現在学校評議員をお世話になっていきます高根利数様と、元三和分校同窓会長の岡村仁志様がお出でくださいました。体育館の展示発表や苗・農産物販売の様子、家政科やPTAのバザーやうどんコーナーの活気あふれる様子に触れていただき励ましのこたばをいただきました。そして今の、千束のこの地に三和分校ができたときの話をさせていただきました。現在、細見小学校のあるところから移転し、本館ができ体育館が建ち、三和分校として整備されていったこと、何より三和分校で学ばれた先輩方が今も温かい目で見守ってくださっていることなど聞かせていただきました。

また、この十二月からは分校入り口の九号線周辺の工事が再開されます。今回は、歩道の完成と、かねてより計画の九号横断地下道の設置準備工事となります。時代の移り変わりや激動の経済情勢の中、地下道の完成は未定のままですが、地域と共に三和分校があることを心に日々の取り組みを大切にしていきたいと考えています。

農業科より

農場部長 松田 平治

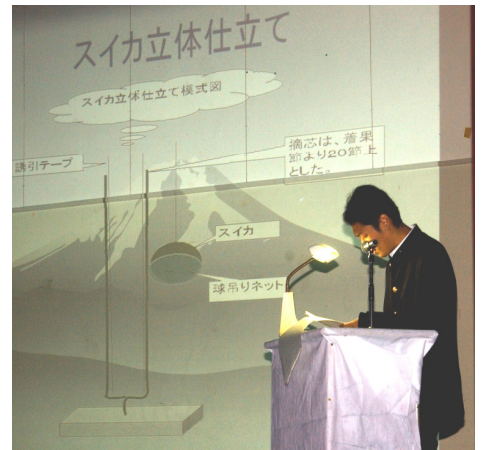
農業科では二期は、白菜、キヤベツ、ブロッコリー等の秋苗販売から始まり、文化祭の発表展示即売、玉葱苗販売、松竹梅の寄植、と忙しい毎日でした。農業科の活動は「教科を通して生きる力・社会性を育成する」「基礎学力の定着・専門的能力の育成をはかる」「地域との交流を生かして、意欲的に働く人材を育てる」という教育目標に沿っておこなわれています。

教科の学習では一年生大根栽培・二年生白菜栽培・三年生トマト調査のプロジェクト学習が設定され、四年生は課題研究で、環境問題に対応した、「ゴーヤグリーンカーテン」というテーマで調査研究に取り組みました。また、危険物取扱者資格試験、小型建設機械特別講習など積極的に取り組みました。合格者、修了者は四ページに掲載しています。

農業クラブ活動では、網野町アミテイ丹後で開催された府連大会に役員が参加し、また、農業大学校でおこなわれた緑の学園農業機



械の部には担当校として多数の参加があり技術の習得に励みました。



全国大会には今年も参加がありましたが、校内での活動や対外的な活動の中で今年も活発な農業クラブ活動がおこなわれました。文化祭では、舞台でのパワーポイントを使った課題研究発表「スイカ立体仕立て」が今年初めて導入され、四年生四人を中心に練習に励み、立派な発表をおこないました。各学年プロジェクト研究や課題研究等の学習成果の展示や野菜・花苗、玉葱苗、鉢物、生産物の即売や模擬店等の例年通りの企画にも一丸となって取り組み、地域の方々や沢山の卒業生、保護者様ほかの御来校をいただきました。これからは農業科や農業クラブでは活発に地域に根ざした活動を頑張っ続けたいと思いますので、今後ともぜひ皆様方の暖かく力強い御支援をどうぞ宜しくお願いいたします。

家政科より

家政科部長 宇野佳代

家政科では、(1)基礎的な知識・技術の定着を図る、(2)家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる、(3)家庭クラブ活動を充実し社会性を高める、という3つの教育目標を掲げ取り組みを進めています。

今年度は、「家庭クラブ活動の充実と生徒の自主的な取り組みを推進すること」に重点を置き、様々な活動を行いましたのでその一部を紹介します。

残暑厳しい九月中旬、文化祭に向けての準備を始めました。縦割り分担で、上級生と下級生がペアになり、自分の得意なことを活かせる役割につきました。マドレーヌのラッピング係、商品名を考える係、商品ラベル係、ポスター係、食券係、店舗の名前とロゴマーク係に分かれ、十一月の文化祭に向けて動き出しました。また、各パートの原案ができた段階で、家政科の生徒全員を集めて担当者から提案し、多数決で1つに絞るという作業を繰り返しました。

こうして家政科の模擬店「具ウグウ亭」が誕生しました。定番のマドレーヌも学年の枠を超えて製造に取り組み、生徒のアイデアで「ワタクシのマドレーヌ」、「俺

のマドレーヌ」の二種類の味にバージョンアップされ、あっという間に売り切れてしまうほどでした。また、四年生課題研究とのコラボ企画から生まれた「いもけんぴ」も好評でした。

文化祭後に家政科で実施したアンケートでは「どの学年とも仲良く楽しく過ごせ、最高の二日間でした。」「みんなそれぞれの役割をできていた。」「大変だったけど楽しかった。やりがいがあった。」という上級生の意見が多く寄せられました。下級生からは「心配だったけど先輩が話しかけてくれて、協力できた。」「忙しかったけど楽しかった。来年もすっかりやりたい。」という意見がありました。

自分たちのアイデアが形になることの喜び、そして、それがお客さんや仲間から評価され、喜んでもらえるという経験は、生徒にとって大きな自信になり、次の学習への原動力となります。「家庭クラブ活動」という生徒が互いに学びあう機会を大切に、自主的な取り組みを今後も促していきたいと思えます。



PTA会員より

「頑張れ三和生」

PTA役員 山崎 久美子

朝夕、体調を整えるのに難しい季節です。PTA会員の皆様にはまずまずご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、PTA活動に御理解、御協力頂き心よりお礼申し上げます。

子どもの成長も早いもので、私の背の高さを越して体格も立派な大人のようになっています。まだ子どもらしく可愛いです。高校生になり、自分のやりたいことに向け目標を持ち毎日頑張っている子もいる中、授業を真剣に受けたり、勉強もしっかりやっているのかと思っていました。我が子、授業態度がイマイチ、先生に大変迷惑をかけている様子。真剣に授業に取り組み、先生に対する気持ち、授業を受けようという姿勢が・・・、さすが反抗期！学校の美化作業に参加して生徒達を見ていましたが、座り込み、友達と話しながらの作業には、啞然。残念な面もありましたが、友達を大事に思う気持ちを持ち、自分の意志をハッキリ言えて、毎日を楽しく過ごしている良い顔を見ていたら少し私の気持ちもここにこになりません。

学校の様子を見ていて、毎日、

門に立ち生徒達に声かけをしてもらえる先生方に感謝します。

私の母校として今のままずっと先生方には生徒達を見守っていてほしいと思います。

今を楽しく、自分の目標を持ち一生懸命学校生活を送ってください。

私は三和分校が大好きです。中退をする子がないように、友達を大事にしようね。親子共々、これからよろしくお願いします。

「ファッションショー」

以上

私は、この日がとても楽しみです。子ども達にとっても一年の集大成。それぞれの学年で思い思いの製作発表。娘は、早いものでもう三年生。

今年日本女性の象徴する「ゆかた」です。「今年は浴衣でえ。ミシン使ったらアカンのやっつえ。全部手縫いらしいわ。」不安も傍らに出来る上がる浴衣に胸をはずませる娘。一年生の時から学校で作った作品を目にする度、感動の連続でした。「えーっ、ほんまにコレ姉ちゃんを作ったん？」内側の見えないうちまできちっと仕上げている、よく娘がひとまわり大きく見えたものです。

さて、ゆかたです。手作り、自分の好きな色、自分が好きな柄、自分で自分を素敵に描いてい

く・・・。この浴衣に、どんな色の帯が似合うのかな、バランスはとれている？。生地の手触りも片手に近い色の糸を探すのも苦労したよね。たった一枚の平面の布地が、娘の手によってあんな見事な浴衣になるとは！。一目一目、娘はどんな気持ちで縫っていたことでしょうか。世界でたった一つの娘の手作り浴衣。

「ファッションショー」

この日、一番、娘が輝いて見える日です。



特別支援教育について

学習支援担当 谷口藤雄

平成十九年度から「特別支援教育」が学校教育法に位置づけられ、まず義務教育で、翌平成二十年から幼稚園や高等学校でも特別支援教育が始まり、すべての学校において、障害や課題のある幼児児童生徒の支援を充実していくこととなりました。

「特別支援教育」とは、障害や

課題のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズ（課題や願い）を把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

三和分校では、これに先立つ平成十六年度から、学習上いろいろな課題のある生徒を支援するために、「学習支援」という担当を置いて支援に取り組んできました。文部科学省や京都府教育委員会は、「特別支援教育」に取り組むため校内委員会の整備と特別支援教育コーディネーターの設置を指示しています。三和分校では早くから校内委員会として教育相談会議が、またコーディネーターとして学習支援担当が置かれ、積極的に特別支援教育に取り組んできました。三和分校には、学習上の遅れやつまずきのある生徒、不登校経験のある生徒、発達障害など進学してきた生徒、発達障害などの障害のある生徒など教育的な課題のある生徒たちがたくさん通学しています。こうした課題のある生徒たちに学習上、生活上の支援をし、また進路実現のための特別な支援（たとえば、就労体験の実施等）に取り組んでいます。

ただ、三和分校は学校教育法で

いう高等学校です。義務教育（小中学校）や養護学校（特別支援学校）とは制度的に大きく異なります。入学試験を受け、希望して入学してきますので、高校生扱いとなり中学時代とは異なりいろいろな面で厳しくなります。出席時間数やテストの点数などが基準をクリアしないと進級や卒業ができません。年齢とともに進級する制度とは違います。また、何か問題を起こすと生徒指導が行われ謹慎などの指導が入ることもあります。保健室登校や別室登校も基本的にはありません。高校入学したてのころは高校の制度になじまない為にトラブルが起きたり、欠席時間数がオーバーして進級できないこともあります。御家庭でもよく高校の教育制度を御理解いただきたいと思います。

三和分校では、一人ひとりをよく理解して適切な支援をするために、発達検査等の検査の実施や専門家の指導を受けたりしています。適切な支援のためには、保護者の御理解が一番大切であり、また本人が自分自身をどこまで理解しているか（自己認知といえます）で支援がうまくいくかどうか分かれます。三和分校の特別支援教育をすすめる、生徒一人ひとりの力をしっかり伸ばすために、今後とも御理解と御協力をお願いします。

○文化祭

十一月十三日（金）十四日（土）三和分校文化祭が実施されました。十三日には午前中に学習発表会として、農業科のプロジェクト発表と家政科のファッションショーを、十四日には、一般公開の野菜苗・花苗、焼き菓子の販売やバザーを中心にした取組を行いました。

また、生徒保健委員会による「新型インフルエンザ」に関する展示発表も行われました。農業科では大根・白菜・調査研究の展示と農業鑑定競技（クイズ）体験コーナーを、家政科では授業で制作した浴衣などの作品展示、美術の作品も展示されました。当日は、PTA会員の皆様・卒業生・地域の皆様など二百人以上の方に来校していただき、日頃の生徒の取組の成果を見ていただくことができました。



○資格取得

今年四月からの資格取得者一覧
第二十九回全国高等学校家庭科被服製作技術検定四級

7名合格

第二十九回全国高等学校家庭科食物調理技術検定四級

4名合格

第二十九回全国高等学校家庭科食物調理技術検定三級

2名合格

第三十回全国高等学校家庭科食物調理技術検定四級

4名合格

危険物取扱者資格試験合格者

△乙種四類・乙種一類▽

1名合格

△丙種▽

1名合格

小型車両系建設機械特別教育修了証取得者

12名取得



バザーへの御協力

ありがとうございます

PTAバザーには会員の皆様方から石鹸・洗剤・タオル等の日用品や文具雑貨等々、保管場所に積み切れないほどの品物を御提供いただきました。本当にありがとうございます。

今年は雨の予想でテントが張れず、理科室、後半渡り廊下に設定した販売所であったにもかかわらず、開店を待ちきれないほどに大勢の方々に訪れていただき、和やかな雰囲気の商品販売がおこなわれ、ほとんどの品物が完売になりました。おかげさまで今年の不況にかかわらず昨年を上回る二万一千四百九十円を売り上げることができました。会員皆様方の御協力御支援に深く感謝申し上げます。

